

博報堂教育財団
教職育成奨学金制度／活動紹介

【制度の趣旨】

- ・ 児童教育、国語教育の教員を目指す学生を対象とした奨学金給付制度。
- ・ 児童教育を支える未来の優秀な教育指導者の育成に貢献する。
- ・ 全国に広がる奨学生及び卒業生の輪が、教育現場での<学びあい、支え合いのネットワーク>となり、教育の質の向上や教育現場の活性化に寄与することを目指す。

【制度の特徴】

- ①教職志望者に対象を絞った完全給付型奨学金
- ②学費をほぼ全額カバーする奨学金を給付することで、学業及び優れた教員になるために必要な活動に専念できる環境を提供する。
- ③児童教育財団としてのノウハウやファシリティを活用し、特色ある研修プログラムを提供する。
- ④海外短期留学支援による、海外での経験を積む機会を提供する
- ⑤奨学生及び卒業生の交流を促進し、全国の教育現場での<学びあい、支え合いのネットワーク>形成を目指す。

【奨学金給付対象者】

- ・ 推薦依頼大学から、以下の教員を目指す学生の推薦を受け、選考委員会による選考により採用者を決定する。
 - ①小学校教員
 - ②特別支援学校教員
 - ③中学校・高等学校の国語科教員

< 2020年度推薦依頼大学（59大学） >

愛知教育大学／愛知淑徳大学／愛媛大学／茨城大学／宇都宮大学／大分大学／大阪大谷大学
大阪教育大学／岡山大学／香川大学／鹿児島大学／鎌倉女子大学／関西大学／関西学院大学
京都教育大学／岐阜聖徳学園大学／岐阜大学／熊本大学／群馬大学／慶応義塾大学／神戸大学
國學院大学／埼玉大学／静岡大学／淑徳大学／上越教育大学／信州大学／玉川大学／千葉大学
筑波大学／都留文科大学／帝京大学／東京学芸大学／東北福祉大学／東洋大学／同志社大学
長崎大学／奈良教育大学／鳴門教育大学／日本大学／兵庫教育大学／広島大学／福井大学
福岡教育大学／福島大学／佛教大学／文教大学／北海道教育大学／三重大学／宮城教育大学
宮崎大学／武庫川女子大学／明治大学／明星大学／山形大学／横浜国立大学／立命館大学
和歌山大学／早稲田大学

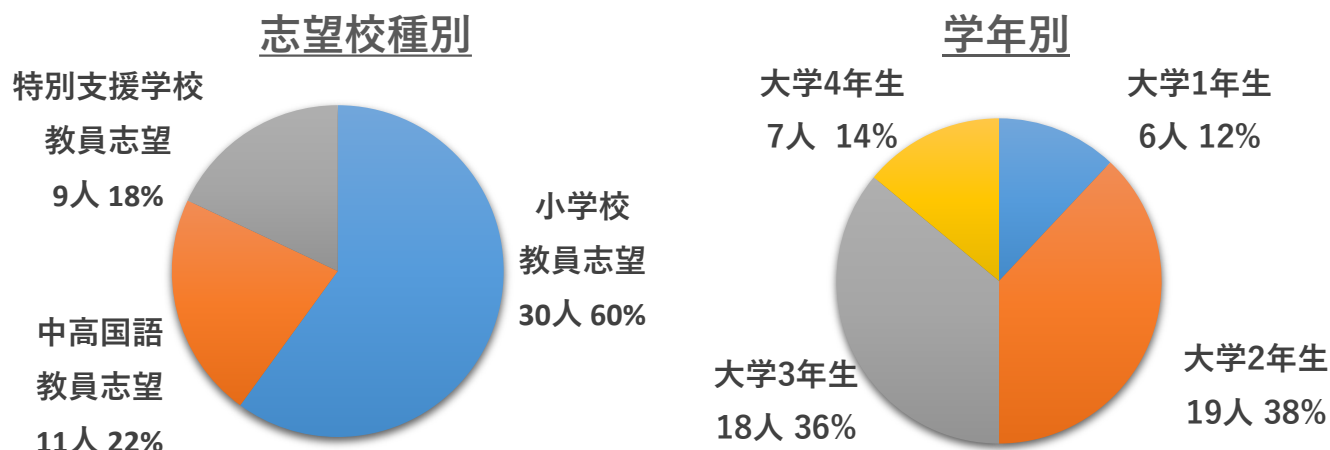
【奨学金給付内容】

- ・ 授業料相当額
大学生（国立）：年額60万円（月額5万円）
大学生（私立）：年額120万円（月額10万円）
大学院生：年額60万円（月額5万円）
- ・ 自宅外生への特別支援費：年額60万円（月額5万円）

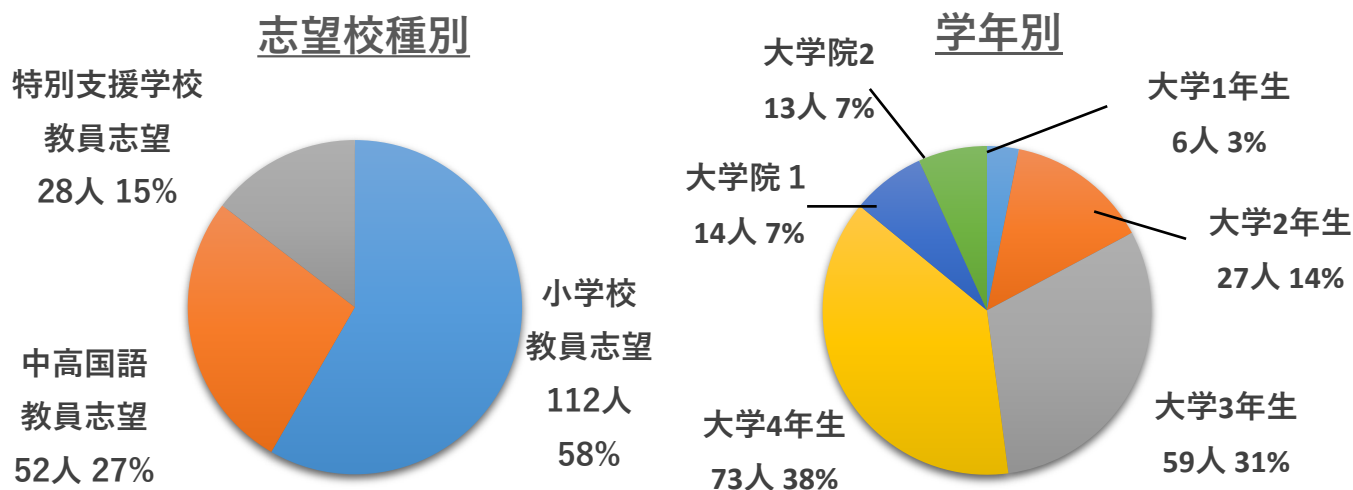
【海外短期留学支援制度】

- ・ 優れた教員になるための経験として役立つと思われる海外短期留学や海外研修等については、本人の申請と大学の推薦により支援する。
 - ・ 渡航費（アジア地域5万円、その他地域10万円）
 - ・ 留学・活動費（5万円／月）

【2021度新入奨学生（第4期生／50名）の内訳】



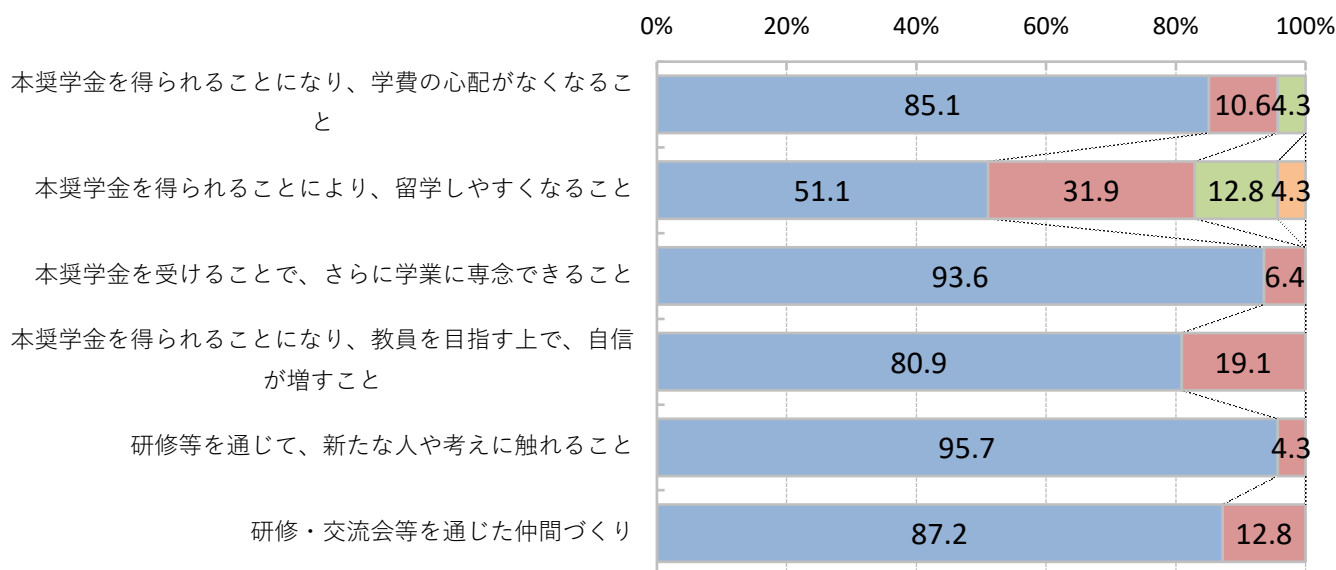
【2021年度在籍奨学生（第1～第3期生＋第4期生／192名）の内訳】



<奨学生が当奨学金に期待すること／2021年度新入奨学生アンケートより>

■本奨学金への期待に関する各項目について、あてはまるものをお知らせください。

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそうは思わない ■ そうは思わない



<主な回答>

●奨学生・OBOGとの交流、交流を通じた学び

全国の奨学生と共に教員への熱意を語り合えること
【小学校/1年次/男性】

自分の視野を広げるために、教育について先輩方と話す機会が増えること。【小学校/1年次/男性】

日本中の教師仲間ができること。【小学校/4年次/男性】

他の奨学生の意見や思いに刺激を受けて、自分もさらに頑張ろうと思えたり、もっと高いレベルで目標を立てたり、思考ができたりすること。【特別支援/3年次/女性】

●視野を広げる

異なった大学で学ばれている方たちの考え方に触れることで、自分の視野を広げること。【特別支援/2年次/女性】

様々な価値観や考え方に触れ、多面的・多角的に物事を理解し、判断できるようになること。【小学校/2年次/女性】

●教員としての自覚、知識の習得

教員を志す人たちとの交流を通して、目指す教員像を明確にすること
【小学校/3年次/女子】

教員になる自覚が持てること。【特別支援/1年次/女性】

他の大学の方々と交流を通して、教師になる上で必要な心構えや知識を得ることはもちろん、自分自身も他の奨学生の方々に良い影響を与えられるように学習を頑張りたいと思います。
【中・高国語科/3年次/女性】

●その他の講座、交流

教員になる上で、多くの実践を学びたいと考えているので、全国でどのような実践例があるのかを学ぶ機会が欲しい。
【小学校/2年次/女性】

教育関係の著名人等を招いた講座を開いていただくと嬉しいです。【特別支援/2年次/男性】

博報堂で働かれている方とも積極的に交流をし、実際の教育現場以外から見た学校や日本の教育についてお話を聞いてみたい。
【中・高国語科/4年次/男性】

●金銭的な負担軽減

博報堂奨学金のおかげで、大学を辞めずにすみしました。
【小学校/3年次/女性】

教員採用試験に向けた教材等の購入へのゆとり
【小学校/3年次/女性】

お金のことを常に心配していた大学生活だったので残りの期間は実習や勉強に集中したいです。【特別支援/4年次/女性】

●選択肢の広がり

大学院に進学されている奨学生や進学を希望している奨学生が多くいること、また教職育成奨学金に採用されたことで私の中で大学院に進学しさらに学びを深めるという選択肢も考えることができるようになりました。【小学校/2年次/女性】

経済的な面で悩んでいた大学院進学に前向きになれた。
【特別支援/3年次/女性】

【目的】

1) 奨学生（及び奨学生卒業生）間の交流の促進

- ・「教員になる」という同じ志を持ちながらも、地域、大学、年次、校種志望の違う多様な奨学生同士での交流を促し、教育現場に出た後にも支えあえるネットワークに育てていく。

2) 博報財団ならではの学びの場の提供

- ・大学教育とは違う視点での「学び」のきっかけづくり。
- ・普段接する機会の少ない「多様な分野の人や考え方」に触れることで考え方を広げ、成長のきっかけに。

【研修の実施】

- ①新入奨学生研修（新入奨学生のみ／1泊2日）
- ②春の研修（全奨学生対象／2泊3日）

【参考／2021年度春の研修での実施プログラム】

2022年3月5日、6日／オンライン開催

奨学生179名参加（交流部分OBOG参加4名）

【実施スケジュール】

	3月5日(土)	3月6日(日)
9	9:30 ~9:50 オープニング 研修概要説明	9:30 講座 A-2
	10:00 講座 A-1	講座 B-2
	講座 B-1	講座 C-2
	講座 C-1	講座 D-2
	講座 D-1	休憩
12	休憩	自己肯定感を育て 自分も他者も 大切にしよう 青山学院大学 古荘純一教授
	自己肯定感を育て 自分も他者も 大切にしよう 青山学院大学 古荘純一教授	博報堂流 対話型授業の 作り方 博報堂 大木浩士
	博報堂流 対話型授業の 作り方 博報堂 大木浩士	好き！ からはじめる SDGs Q & Action For SDGs
	好き！ からはじめる SDGs Q & Action For SDGs	ステキなおとなの 「単位」 を作ろう！ 博報堂 内山裕也 加藤由佳
	ステキなおとなの 「単位」 を作ろう！ 博報堂 矢野真理子 新津裕隆	~14:30
15	~15:00	15:00 ~18:00 研修クロージング オンライン懇親会
	15:30 ~18:00 全体講座 リフレクションWS（駅伝大会） 博報堂 久保田三絵	
18	初日クロージング	

※時間は前後する場合があります。

【講座と講師の先生の紹介資料】

講座A-1：3月5日(土) 講座A-2：3月6日(日)
「自己肯定感を育て、自分も他者も大切にしよう」

A

<プログラム概要>

世界的に見ても低いといわれる日本の子どもの自己肯定感。特に10歳以降に低下することが顕著です。日本の子どもの、対人関係構築の困難さや抑うつ感の強さを示しているのかもしれない。皆さんが目指している「教員」は保護者の次に子どもと長い時間を共にする職業です。自己肯定感(自尊感情)を学ぶことにより、子どもたちの自己肯定感を育てる事ができ、また、激励といわれる教員自身が、連携して困難に立ち向かう時の手助けにもなると考えています。

<講師>



古荘 純一
(ふるしょう じゅんいち)

青山学院大学
教育人間科学部教授

青山学院大学教育人間科学部教育学科教授。小児科医、小児精神科医、医学博士。発達障害、自己肯定感、不登校、ひきこもり、虐待などの研究を続けながら、教職・保育士などへの講演も。小児の心の病気から心理、支援まで幅広い見識を持ち、小児の精神医学に関する論文も多数。自己肯定感の近著『自己肯定感』を高めて自分を大切にしよう(YA心の友だち、PHP出版)など。そのほか、『自己肯定感で子どもが伸びる12歳までの心と脳の育て方(ダイヤモンド社)』『日本の子どもの自尊感情はなぜ低いのか(光文社新書)』など。

講座B-1：3月5日(土) 講座B-2：3月6日(日)
「博報堂流・対話型授業のつくり方」

B

<プログラム概要>

学習指導要領が改訂され、学校の授業には「対話や話し合い」が取り入れられています。そして多くの先生が、「生徒同士で行う話し合いが活性化しない」と悩んでいます。話し合いの質を高めたり、活性化をうながすためには、場づくりや進行の技術が必要です。これまで博報堂では、H-CAMPという教育プログラムを通して、700回以上の対話型授業を行いました。そこで培ったノウハウを、体験をしながら楽しくお伝えする講座です。

※本講座は、神奈川県教育委員会で開催している教員研修の内容を、提学生向けにアレンジしたのになります。

<講師>



大木 浩士
(おおき ひろし)

博報堂 広報室/
H-CAMP企画推進リーダー
博報堂・これからの教育ラポリーダー



2013に中高生を対象とした教育プログラム「H-CAMP」を立ち上げる。8年間で約700回の対話型授業を開催。対話と体験を重視したプログラムは、学校や教育委員会から非常に好評で、2016年には、経済産業省が主催するキャリア教育アワードでグランプリも受賞。著書に『博報堂流・対話型授業のつくり方』『博報堂H-CAMP流・プレゼン指導の基礎ガイド(2022年3月発売予定)』がある。また出身地の栃木県において、とちぎ未来大使・交流企画プロデューサーに任命され、都市と地域の人をつなぐ交流イベントなども企画・実施している。

※3期生専用の講座です

講座C-1：3月5日(土) 講座C-2：3月6日(日)
「好き！からはじめるSDGs」ワークショップを体験し、授業を共創しよう

C

<プログラム概要>

社会全体の課題としての認知が広がっている一方で、教育現場では「どのように学習や活動テーマに取り上げるべきか」という課題が顕在化しつつある「SDGs」。子どもたちが、SDGsを知識として「知る」だけでなく、自分ごととして、具体的なアクションをはじめのきっかけを生み出すには、どのような学びのアプローチがあるだろうか？「好きからはじめるSDGs」ワークショップは、そんな課題意識から誕生し、教育現場でのトライアルも始まっています。今回のプログラムでは、本ワークショップを体験いただいた後に、提学生のみなさんに「これからの授業」をつくる視点で教材を一緒に進化させていただきたいと考えています。ぜひご参加ください。

<講師>



Q&Action for SDGs



Q & Action for SDGs

SDGsへ取り組むソーシャルアクションとして、博報堂DYグループの有志から始まったプロジェクト。「クリエイティビティで、持続可能な社会のつくり手を育む」ことを目標に、一般社団法人Think the Earthとの共同イベント実施、私立育種中学校のSDGsゼミでのワークショップ実施等に取り組む。22年春に「好き！からはじめるSDGs」が出版社より発売される中高生向けの書籍に掲載される予定。

- ・Q & Action for SDGs公式サイト <https://www.hakuhoddy-holdings.co.jp/csr/gandaction/top>
- ・新渡戸文化高等学校・山藤先生×プロジェクトメンバーの対談 <https://www.hakuhodo.co.jp/magazine/89425/>

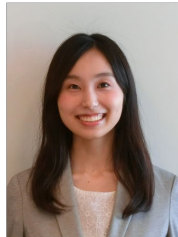
全体研修：3月5日(土)
「リフレクションWS (駅伝大会)」

全

<プログラム概要>

皆さんは、人の成長にはどのようなことが必要だと思いますか？きっと様々なかと思いますが、今回は、人材育成やキャリア開発領域で近年注目されている「リフレクション(内省・振り返り)」という考え方について、取り上げたいと思います。博報堂の新入社員研修で実施したプログラムを一部アレンジした形で、実際に皆さんにも体験していただきます。ゲームを通して、チームで協力しながら楽しく習得しましょう！

<講師>



久保田 三絵
(くばた みえ)

株式会社博報堂
人材開発戦略局
マネジメントプランニング
ディレクター

津田塾大学卒業後、2011年4月、株式会社博報堂入社。約7年間、営業職として官公庁・化粧品メーカー・大学広報等の業務に従事。大学時代に教員免許状を取得していたこともあり、教育や育成の仕事に携わりたいという思いから、2017年に人材開発戦略局に異動し、新入社員および若手社員の育成担当に。内定・入社後の新入社員研修をはじめ、新入社員のトレーナー向けの研修や、4年目社員を対象としたキャリア支援施策等を行っている。

講座D-1：3月5日(土) 講座D-2：3月6日(日)
明日の世界がちよっと変わって見える？ステキなおとなの「単位」をつくろう！

D

<プログラム概要>

私たちは毎日世界をどんな風にみているでしょう？誰かと共通のものさしを使っているものもあれば、人によって感じ方や考え方は違うのに、同じ言葉で表してしまっているものもあるのではないのでしょうか？そんなモヤモヤについて、ちょっとだけいつもより深く考えて自分なりに言葉にしてみると、気づかなかった自分の感覚に出会えたり、いつもの世界がちよっといつもと変わって見えるかもしれません。このプログラムは、そんな普段何気なく捉えているモヤモヤしたものをほかに、自分オリジナルの単位を作るワークショップです。

<講師>



矢野 真理子 (やの まりこ)
フリープランナー
(元博報堂STPディレクター)

2009年に博報堂入社。ストラテジックプランナーとして、企業ブランディング、商品ブランディング、商品開発の戦略立案・新事業開発等を自動車、精密機械、菓子、飲料、化粧品・小売業など担当。2021年博報堂退社しフリー。



加藤 由佳 (かとう ゆか)
サービスデザインプランナー
博報堂第一BXマーケティング局

2015年に博報堂入社。ブランディングと商品・サービス開発を軸に地域や、日用品、自動車、競馬などの企業を担当。趣味は、人間観察と音楽。



内山 祐也 (うちやま ゆうや)
マーケティングプランニングディレクター
博報堂 第二BXマーケティング局

2013年に博報堂入社。ブランドコミュニケーションや新商品開発に関わるマーケティング業務に従事。飲料や日用品などの低価格カテゴリから、車や家電などの高額・耐久財まで様々な商品を担当。



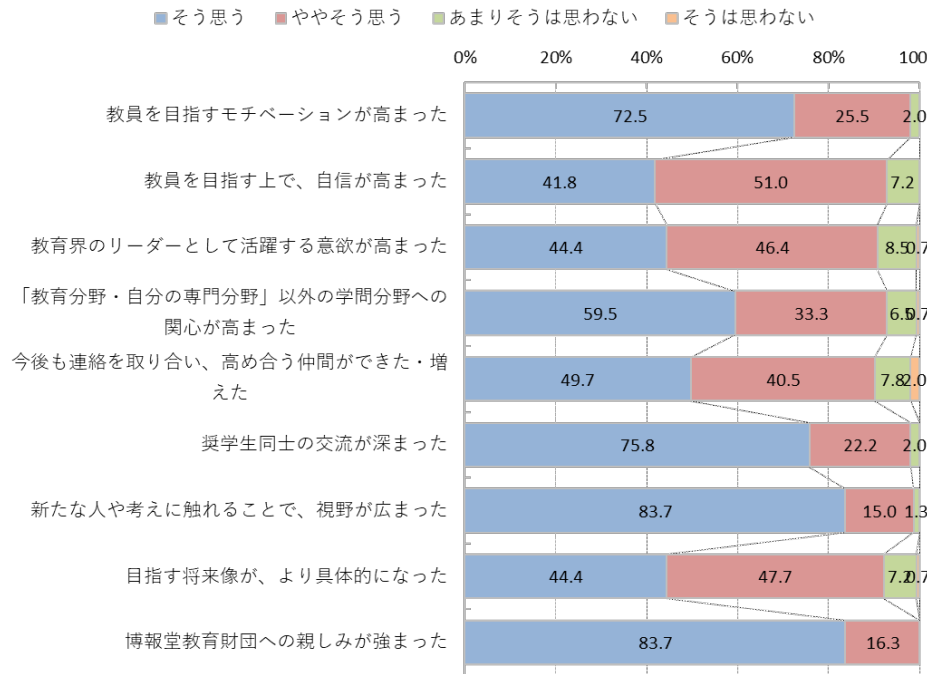
新津 裕隆 (あらつ ひろたか)
イノベーションプランナー
博報堂 第二BXマーケティング局

2017年に博報堂入社。福岡県出身。飲料、食品、家電、通信、ベンチャー系などの企業や商品のブランド戦略立案を担当。新しい商品やサービスのコンセプト開発、WEBや体験会のUI/UX開発などの仕事も好き。趣味はラジオ、キャンプ、おいしいもの。

【研修後の奨学生アンケート結果】

- そう思う（TOP1）で見ると、「新たな人や考えに触れることで、視野が広まった」「財団への親しみが強まった」「奨学生同士の交流が深まった」「教員を目指すモチベーションが高まった」が上位となった。

[Q7] あなたは、研修を受講して、以下のような感想を持ちたり、意識変化がありましたか。



小学校教員	特別支援学校教員	中・高国語科教員	大学1・2年次	大学3・4年次	大学院	男性	女性
(86)	(19)	(48)	(30)	(102)	(21)	(35)	(117)
79.1	84.2	56.3	90.0	70.6	57.1	77.1	70.9
51.2	47.4	22.9	50.0	38.2	47.6	60.0	36.8
52.3	31.6	35.4	63.3	39.2	42.9	74.3	35.9
58.1	63.2	60.4	53.3	59.8	66.7	62.9	58.1
54.7	36.8	45.8	60.0	47.1	47.6	60.0	46.2
70.9	68.4	87.5	80.0	74.5	76.2	77.1	75.2
88.4	78.9	77.1	90.0	82.4	81.0	91.4	81.2
43.0	31.6	52.1	60.0	42.2	33.3	60.0	40.2
82.6	84.2	85.4	80.0	84.3	85.7	85.7	82.9

【研修で得た成果】

他の奨学生/OBOGとの交流

最も大きな成果はたくさんの人とコミュニケーションを取れた経験であると思った。小・2

以前よりも多くの人と話す機会があり、様々な地域で教職を目指す人と意見を交わすことができたこと。それにより、自分の視野が広がった。小・2

奨学生同士で対話し、これからの交流につながれたこと。（LINE、Instagramの交換）小・3

奨学生のみなさんと交流することができ、このネットワークをもっと大切にしたいと思えたことです。小・4

違う大学・年齢の奨学生や、普段関わらない社会人の講師の方々と意見を交換し、考えを伝え合うことで、自分になかった視点に気づけたり、新たな発見がたくさんあったこと。小・院1

今回得たのは、学べる環境があって、ともに刺激を受けながら高め合える仲間と交流できるありがたさです。ますます奨学生が増えていき、共に教師を志す仲間が増えたことを嬉しく思えました。特支・4

同じような立場にいる人はたくさんいて、経験したことのある人も周りに沢山いることに気がついた。色々な話を聞けて、思っていたよりも自分が難しくマイナスに考えすぎていたことが分かって救われた 中高・3

すぐに連絡が取れそうな人と交流できて良かった。自分は4月から教壇に立つので、何か困ったことがあったら相談したいと思える人たちができたのが心強かった。中高・4

技術を学んだ・スキルが上がった

対話型授業の心構えや技術について学べたことが最も大きな成果 小・1

新しい授業のアイデアを得ることができた。具体的には、社会科や総合、家庭科で扱うSDGsや、素敵な大人とは何かという道徳的な課題まで、大切だけれど、どういう活動を仕組みばいいのか曖昧なものに対して、どのような視点で授業を作るか考えることができた。また、駅伝大会で学んだ自分の癖の把握や、振り返りの大切さなども、メタ認知的思考として授業に取り入れられたらより良くなるのではないかと考えている。小・3

子供に多くの学びを与えようと思ったら、その分教師側が環境設定や準備を行う必要があると学べたことです。その環境設定の仕方や準備の仕方を2つの講義のなかで詳しく知ることができ、また実際に奨学生同士でやってみたことで子どもの前でも実践するイメージが湧きました。小・4

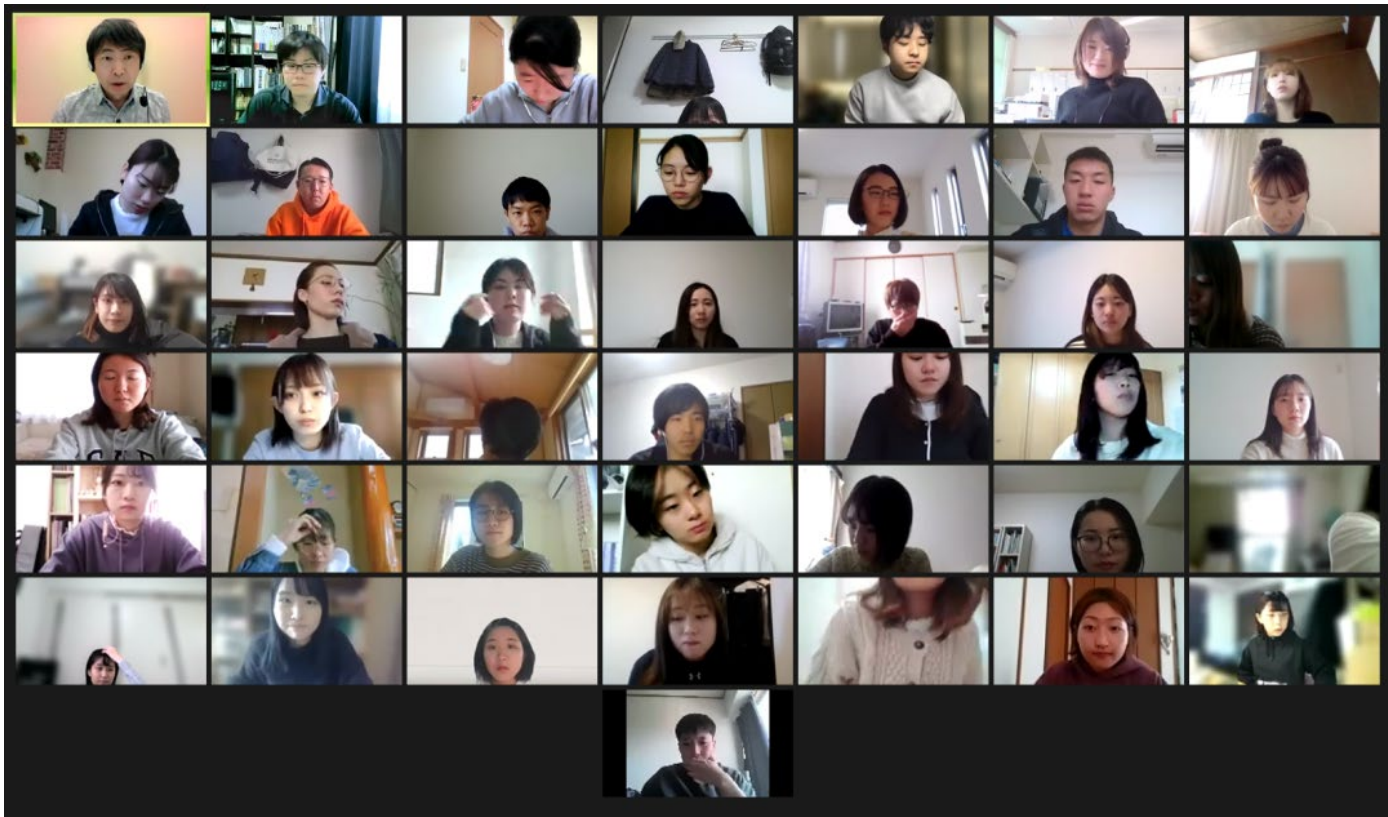
自分の意見を、グループのみんなに自分なりに伝える力が鍛えられたことです。特支・2

話し合いのリーダーの役割に関して一歩踏み出せたこと、自分の良かった点と課題が見つかったことが大きな成果だと思います。特支・3

効果的な内省を行うための手順について学びました。中高・3

生徒のQOLから背景を考慮ができるという手法を知ることができたことです。中高・4

【研修中の奨学生の様子】



< 当財団他事業への参加（希望者のみ） >

※20年度、21年度は、コロナ禍により参加が難しい状況でした。
参考までに19年度の様子を掲載いたします。

【目的】

- ・「博報賞」「児童教育実践についての研究助成」等、当財団の他事業への参加し、優れた教育実践者や研究者の知見に触れ、交流を図る機会を提供する。

【奨学生の参加例】

- ・「博報教育フォーラム」への参加
- ・「博報日本語交流プログラム」の海外児童日本体験プログラムへのサポーター参加
- ・「児童教育実践についての研究助成」成果発表会・交流会への参加
- ・博報賞を受賞した先進的な取組を行う小学校への奨学生による取材
(横浜市立白幡小学校)

【参加時の奨学生の様子】



< 海外短期留学支援制度 >

【当支援制度を活用した留学実績】 15件

(利用率：11%、平均期間：2週間、平均支給額：約140,000円)

【主な留学内容（行先・期間／目的）】

- ・フィンランド（10日間）／フィンランドの小学校現場教育の視察と教育実習
- ・フィンランド・オウル大（19日間）／フィンランドの教育システム視察
- ・アメリカ・オハイオ州立大（10日間）／特別支援短期研修プログラム参加
- ・アメリカ・ユタ（1ヶ月）／現地教師アシスタントと授業実習
- ・ニュージーランド・クライストチャーチ（1か月）／幼児教育視察と介護ボランティア活動
- ・フィリピン・セブ（15日間）／Global Teacher Program教育実習
- ・フィリピン・セブ（13日間）／現地小学校の補助教員体験
- ・フィリピン・マニラ（10日間）／学校現場の視察
- ・ベトナム・ホーチミン（6日間）／小学校現場視察

＜近況報告会＞

【実施】2021年11月21日／東日本ブロック 参加者：99名参加
 11月28日／西日本ブロック 参加者：103名参加

【実施プログラム】

開始時間	活動	詳細	目安
12:45	奨学生アクセス開始	・ 12:45～ zoom に不安な学生向けフォロー	
13:00	1) イントロダクション	・ 開会挨拶 ・ 常務理事挨拶 ・ 財団から趣旨説明	20 分
13:25	2) OBOG の報告	「小学校」登壇：中山さん(21 日) 塩田さん(28 日) 「特支」登壇：高橋さん(21 日、28 日) 「中高」登壇：坂浦さん(21 日) 中村さん(28 日) 「大学院」登壇：平野さん(21 日) 村井さん(28 日)	60 分
14:25	休憩		10 分
14:40	3) 交流	交流① 交流② 交流③ 交流④	60 分
15:40	休憩		5 分
15:45	4-1) ブロックチーム対抗 ゲーム大会	ゲーム① ゲーム②	30 分
16:15	休憩		5 分
16:20	4-2) ブロックチーム対抗 ゲーム大会	ゲーム③ 感想交流会 リーダー決め 結果発表	40 分
17:00 頃	5) クロージング	・ ブロックリーダー 紹介 ・ 閉会挨拶 ・ 記念撮影	約 20 分

【交流会の様子】



【目的】

- ・奨学生及び卒業生の交流促進の一環として、奨学生及び卒業生の活動や近況を紹介するWEBマガジンを奨学生、卒業生、大学担当者様へ配信



(2020年度に配信したWEBマガジンの内容)

- ・海外短期留学体験記
- ・奨学生とボランティア
- ・「写話による。ありのままの子ども」制作担当者にインタビュー
- ・新入奨学生紹介
- ・先輩奨学生からメッセージ
- ・こども研究所「子ども1週間しあわせ調査」
- ・大学院生活座談会【前編・後編】
- ・教育現場座談会【前編・後編】

(2021年度に配信したWEBマガジンの内容)

- ・卒業生のことば
- ・OBOG会が本格始動!
- ・オンライン留学体験記
- ・教採2次試験への道!
- ・新入奨学生紹介
- ・近況報告会・東日本ブロック報告
- ・近況報告会・西日本ブロック報告
- ・卒業生のことば